



やる気と笑顔にあふれ ともにかがやく 学校をめざして

曾根小だより

HP <http://www.nishikawa-sone-e.city-niigata.ed.jp/>

新潟市立曾根小学校
新潟市西蒲区曾根 750 番地
全校児童 172 名（家庭数 138）
令和 7 年 7 月 24 日発行



有意義な夏休みにしましょう



校長 古井丸 裕三

今日で夏休み前の授業が全て終了しました。4月の始業式から数えて74日目です。子どもたちは、それぞれの学年にふさわしい学習や生活の仕方を身に付けながら成長してきました。たくさんの場面で「やる気と笑顔にあふれ、ともにかがやく」姿を見せてくれたことをとてもうれしく思っています。

さて、明日から子どもたちが楽しみにしていた夏休みです。子どもたちは「何か楽しいことがあるそうだ」「あれもしたい これもしたい」という期待でいっぱいです。そんな期待を感じて、「夏休みだから特別な体験をさせてあげたい」と思っている家庭も多いのではないのでしょうか。ぜひこの機会に、学校生活では得られない貴重な体験、新しい体験をさせ、子どもたちの「成長の種」をまいていただければと思います。

しかし、そうは言っても共働き家庭が多い現代です。子どもの休みに合わせて休みを取るのには難しく、毎日を「特別な体験」でいっぱいにするにはできません。有意義な夏休みにするためには、日常生活をどのように過ごすかが大切になります。そのために、次のことに取り組んでみてはいかがでしょうか。

1 「夏休みのスケジュール」を親子で作る

長年教師をしていて感じるのは、子どもたちは「いつ何をやればいいのか分からない」状態が一番混乱するということです。夏休みに入ったらすぐに、「夏休みのスケジュール(①「夏休みを通した計画」②「一日の過ごし方」)」を作ることをおすすめします。大切なのは、親が一方的に決めるのではなく、子ども自身が「これならできそう」と思えるスケジュールを親子で一緒に考えることです。それが、やる気につながります。

その際は、学習計画も具体的に入れてください。宿題や自主学習などやるべきこと、やりたいことの全体量を把握し、旅行などで学習ができない日を確認し、その上で1日の学習量を「〇〇を◇ページまで」という風に具体的に決めます。学習時間だけにとらわれず、学習量をもとに計画するのがポイントです。学習の進み具合は、親子で毎日振り返り、その日にできなかった分をどこで補うかは子どもに決めさせます。

完成したスケジュール(※途中で修正するのもありだと思います…)は、紙に書いて冷蔵庫などに貼るとよいでしょう。それだけでも、子どもにとって「今日は何をする日だっけ?」という迷いがなくなります。実は、教室でも同じ方法を使っています。「今日の予定」を黒板の近くを書いておくと、子どもたちは安心して学習に取り組めるようになります。家庭でも同じ効果が期待できると思います。

2 十分な睡眠を取り生活のリズムを整える

夏休みは、毎日が「明日は休み」の連続です。「規則正しい生活」を強く意識しなければ、あっという間にだらだらした生活になってしまいます。ある家庭では、每晚決まった時間になったら家族みんなでテレビやスマホをやめて、『明日の準備タイム』にしているそうです。今日楽しかったことを一つ話をさせ、明日の予定を確認してから寝るのだそうです。子どもは、一日を振り返る時間があると心が落ち着きます。学校でも「今日のよかったこと」を発表する時間を作ると、子どもたちの表情が穏やかになります。家庭によっ

て生活スタイルは異なりますが、このような「夜のリセット時間」を作ることによって、翌日への気持ちの切り替えができ、毎日が充実したものに感じられます。

また、よい睡眠を取るだけで、子どもが抱える様々な問題が大きく改善したという調査結果もあります。遅くまで仕事をしている保護者の方も多いと思いますが、帰宅後の時間の使い方を少し工夫して、早寝早起きと睡眠時間の確保に取り組んでいただければと思います。

夏休みが終わると、子どもたちはいろいろな話をしてくれます。その中には、「朝早く起きて植木の水やりをしたよ」「家族と一緒に昼ごはんを作ったよ」など、日常の何気ない出来事や家族と一緒に何かをしたことについての話がたくさんあります。うれしそうに報告してくれる子どもたちの顔を見ると、本当に価値ある体験は、その子自身の感じ方次第ではないかと思います。

「親との温かい関係」や「家庭内で責任をもって関わった体験(家事を手伝うなど)」など、日常の中で得られるような体験が、自己効力感や社会性の発達につながり、将来の仕事の成功や幸福感と深く関わっているという研究結果があります(アメリカ・ハーバード大学「成人発達研究」)。きっと、日常の何気ない出来事でも子どもと「どう思った?」「何が楽しかった?」と話しながら、一つひとつの体験を価値あるものにしていくことが大切なのでしょうね。

子どもたちが、健康に留意するとともに、事故や事件に遭うことがないように十分注意して、いつまでも思い出に残る有意義な夏休みを過ごすことを願っています。

● 西川祭り「子ども傘ぼこ行列」に子どもたちが参加します(8月23日・24日)

昨年度は、暑い中での開催となり、熱中症が心配されました。安全確保のため、保護者の方からも一緒に歩いていただき、水分補給などのサポートをしていただきました。



昨年度も多くの子どもたちが参加して祭りを盛り上げました。今年も引き続き参加する子どもたちがいます。

今年度から PTA 行事として位置付けています。

曾根小学校では、「地域への愛着と誇り」を育てるための教育活動に力を入れています。「総合的な学習の時間」の舞台は小学校を中心とした曾根の地域で、地域の人からお話を聞いたり、地域に出かけて見学したりしながら学習しています。「西川祭り」などの歴史や伝統のある行事を「地域の宝」として調べている学年もあります。

今年度も、「西川祭り実行委員会」からの要請を受け、「子ども傘ぼこ行列」への参加者を募りました。最終的に25名の子どもたちが参加することになりました。この他にも、曾根神社や地域から選ばれた役で参加する子どもたちもいます。祭りに参加することを通して、自分と地域のつながりを感じてくれることを願っています。